

2008

第5期中間報告書

(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社



代表取締役社長

徳、中 暉久

株主の皆さま、こんにちは。

ソニーフィナンシャルホールディングスグループの平成20年度中間期連結業績について、ご報告申し上げます。

当中間期のわが国経済は、前年度後半に顕在化したサブプライムローン問題による世界的な金融市場の混乱のほか、原材料価格の高騰が続いたことにより、企業業績の先行き不透明感が増大し、個人消費も低迷しました。

こうした状況の中、当社グループは、グループの中核企業である、ソニー生命、ソニー損保、ソニー銀行の差異化されたユニークな販売チャンネルを通じて、一貫してお客さま視点に立った質の高い金融サービスを提供いたしました。

平成19年10月の上場から1年が経過いたしました。今後も事業の発展とグループ企業価値拡大のため、引き続き全役職員が業務に邁進してまいります。株主の皆さまのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

Q 平成20年度中間期の事業総括は

A 当中間期決算では、ソニー生命の保有契約高、ソニー損保の正味収入保険料およびソニー銀行の預り資産残高がいずれも前年同期を上回るなど、業容面が引き続き堅調に推移したことから、連結経常収益は前年同期比3.8%増の4,200億円となりました。一方で、世界的な金融市場の混乱により有価証券価格が下落したことなどにもない連結経常費用が増加したため、連結経常利益は同18.4%減の224億円、連結中間純利益は同27.1%減の

121億円となりました。

当社の取り組みとしては、平成20年4月に、ソニー銀行に対して同社の財務基盤のさらなる拡充のため60億円^(※1)、同5月には、ソニー生命に対して同社が個人年金保険商品を拡充すべく合弁で設立した準備会社^(※2)による生命保険会社開業に必要な資金に充当するため100億円、それぞれ増資引受けを実施いたしました。

^{※1} ソニー銀行に対しては、平成20年11月、同社の健全な成長をサポートするため、さらに60億円の増資引受けを実施しております。

^{※2} ソニーライフ・エイゴン・プランニング(株)。当中間期より、当社の持分法適用関連会社としております。

Q 上場の効果は

A 上場したことにより、メディアに取り上げられる機会が格段に増加しました。そのため、株主・投資家の皆さまはもとより、世の中に広く当社グループの提供する金融サービスを認知・理解いただけるようになりました。これは直近の業容が堅調に推移している要因の一つであるとも考えております。

また、良い意味で上場企業としての緊張感が高まり、グループ役職員のロイヤリティやモチベーションにもプラスの効果が出ていることを実感しております。

Q グループシナジーの状況は

A 規制緩和や少子高齢化による競争激化が進む中、当社グループでは、各社の業容拡大に加えて、各社間の連携を深めることによる相乗効果を発揮すべく、それぞれの営業基盤を活用したクロスセルに注力しております。

特に、ソニー生命のライフプランナー（営業社員）のコンサルティング能力を活用したクロスセルは大きな成果を上げており、当中間期では、ソニー損保の自動車保険新規契約件数の約10%、ソニー銀行の住宅ローン新規実行金額の約35%がライフプランナーの取り扱いによるものとなっております。

Q グループのリスク管理の状況は

A グループ各社はそれぞれ規模、特性および業務内容によりリスクの所在や種類が異なりますが、当社は、これらのリスクを適切に管理する体制を整備しつつ、金融持株会社としてグループの経営資源を集結することで、グループ全体のリスク管理態勢をより強化し、統合的なリスク管理をおこなっております。

具体的には、グループ各社において、各リスクについての評価、モニタリング、その他管理などをおこなうとともに、当社のリスク管理統括部署が各社のリスク管理部門などと連携して、モニタリング、リスク管理会議の開催などを通じ、グループのリスク管理状況を把握し、取締役会、経営会議へ定期的に報告をおこなっております。

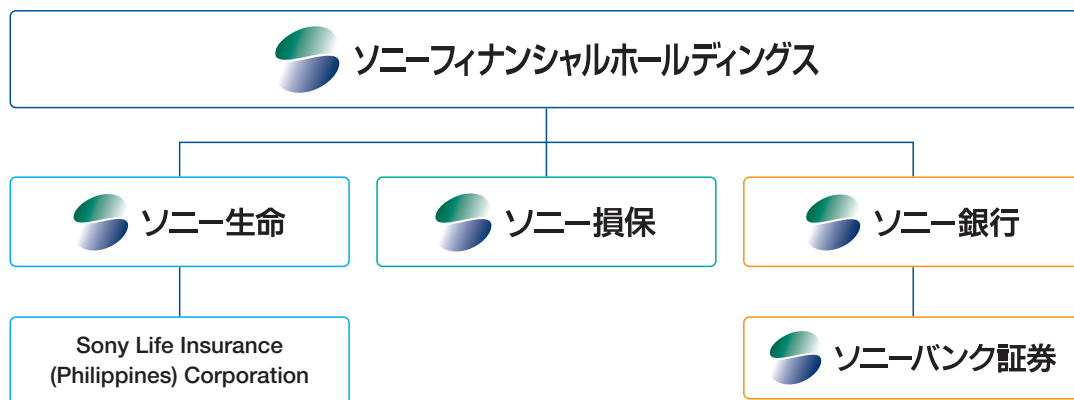
当社およびグループ各社が管理すべきリスク

- 市場関連リスク
- 信用リスク
- 不動産投資リスク
- 流動性リスク
- 保険引受リスク
- 事務リスク
- システムリスク
- リーガルリスク
- 風評リスク
- 事業継続リスク

平成20年12月

ビジョン

ソニーフィナンシャルホールディングスグループは、金融の持つ多様な機能（貯める・増やす・借りる・守る）を融合して、お客さま一人ひとりの経済的ニーズに合わせた付加価値の高い商品と質の高いサービスを提供することにより、お客さまから最も信頼される金融サービスグループになることを目指します。



理念

お客さま本位

私たちは、お客さまが安心して豊かに暮らせるお手伝いをさせていただくために、お客さま一人ひとりの「声」を真摯に受けとめ、お客さまに満足される商品とサービスを提供します。

社会への貢献

私たちは、金融サービス事業に特段の公共性が求められることを自覚し、高い倫理観と使命感をもってビジョンを実現し、社会に貢献します。また、社会の一員として、よき市民としての責任を果たします。

独自性の追求

私たちは、常に原点から発想し、慣例等にとらわれず創造と革新を追求します。

自由豁达な組織文化

私たちが目指す金融サービス事業では、社員一人ひとりの貢献が重要であると認識しています。私たちは、個性を活かし、能力を十二分に発揮できる自由豁达な組織文化を支持します。

ソニーフィナンシャルホールディングス

発行体格付けとして「AA-」の格付けを取得

平成20年9月、(株)格付投資情報センター（「R&I」）より、発行体格付けとして「AA-（格付けの方向性：安定的）」の格付けを取得いたしました。当社グループ各社は、設立以来順調に業容の拡大を続けておりますが、成長と同時に健全な財務体質を維持することも重要であると認識しております。今回の格付け取得は、成長を続ける当社グループにおいて、将来的に資金ニーズが発生した際、当社として機動的に対応できる体制を構築することを目的としております。

ソニー生命

「スペシャルオリンピックス日本」への賛助金贈呈

ソニー生命は、ひとりでも多くの知的発達障がいのある方々の自立と社会参加をサポートし、多様性を認め合う優しい社会の形成に寄与していくべく、「スペシャルオリンピックス日本」を支援しております。平成20年9月には、有森裕子理事長を本社に招き、賛助金（500万円）の贈呈式をおこないました。今後も、社員による大会支援のボランティア活動などを通じ、積極的に活動を支援してまいります。



ソニー損保

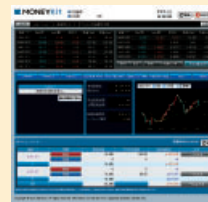
札幌事故受付サービスセンター新設

平成20年6月、2つ目の事故受付サービスセンターとして「札幌事故受付サービスセンター」を新設し、7月より業務を開始いたしました。事故受付サービスセンターの増設は、保有契約数増加への柔軟な対応の実現や大規模災害発生リスク等への対応態勢強化を目的としたもので、質の高い人材の確保および効率的な運営が見込めることを理由に、ソニー損保でのコールセンター運営実績がある札幌市を設置場所に選定いたしました。今後も、保有契約数の増加等にあわせ、順次、サービスセンターの拡充およびスタッフの増強を図っていく予定です。

ソニー銀行

外国為替証拠金取引開始

平成20年5月、お客さまの幅広い外貨運用ニーズにお応えするため、「外国為替証拠金取引」の取り扱いを開始いたしました。ソニー銀行は、従前から資産運用の選択肢の一つとして外貨預金を提供しており、為替レートや金利設定をマーケットに連動させた商品性で多くのお客さまにご支持いただいております。今回の取り扱い開始を通じて、さらにマーケットに近い水準でのお取り引きを可能とし、為替が円安・円高のいずれに動いても売買収益を得る機会などを提供することにより、お客さま一人ひとりの多様な運用スタイルにお応えしております。



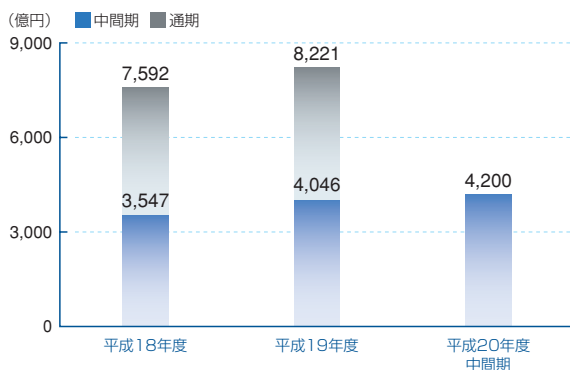
1 ソニーフィナンシャルホールディングス（連結）

業績推移表

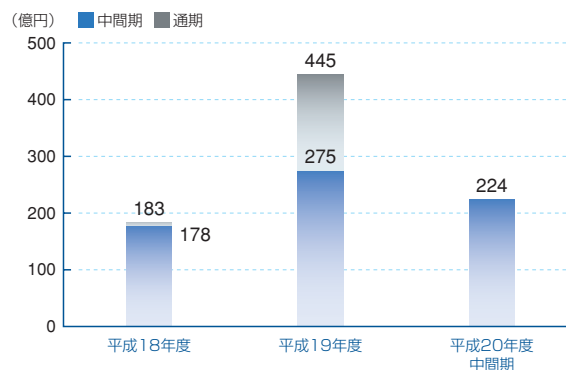
		平成18年度 中間期	平成19年度 中間期	平成20年度 中間期	平成18年度 (平成19年3月期)	平成19年度 (平成20年3月期)
生命保険事業	経常収益 (億円)	3,199	3,657	3,721	6,898	7,413
	経常利益 (億円)	163	240	200	148	390
損害保険事業	経常収益 (億円)	256	277	307	510	556
	経常利益 (億円)	9	20	11	20	28
銀行事業	経常収益 (億円)	96	115	177	194	259
	経常利益 (億円)	5	14	11	13	24
連結	経常収益 (億円)	3,547	4,046	4,200	7,592	8,221
	経常利益 (億円)	178	275	224	183	445

※上記の各事業別数値は、当社グループ内取引を消去していないことなどにより、10ページ「中間連結損益計算書（要約）」に記載された数値と異なる部分があります。

▶ 連結経常収益の推移



▶ 連結経常利益の推移



より詳しい情報は、当社のホームページ <http://www.sonyfh.co.jp/> をご覧ください。

2 ソニー生命（単体）

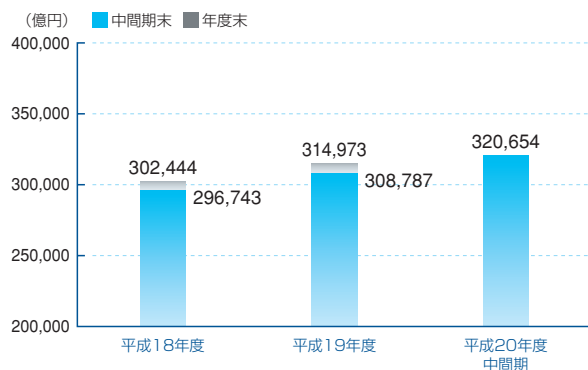
業績推移表

	平成18年度 中間期	平成19年度 中間期	平成20年度 中間期	平成18年度 (平成19年3月期)	平成19年度 (平成20年3月期)
保有契約高 <small>【中間期末 または年度末】</small> (億円)	296,743	308,787	320,654	302,444	314,973
保有契約年換算保険料 <small>【中間期末 または年度末】</small> (億円)	4,888	5,174	5,409	5,046	5,300
うち第三分野 (億円)	1,139	1,205	1,245	1,174	1,228
解約・失効率 (%)	2.81	3.01	3.11	5.79	6.12
新契約高 (億円)	16,936	18,793	18,947	34,294	38,025
新契約年換算保険料 (億円)	315	312	309	655	634
うち第三分野 (億円)	68	65	65	144	133
保険料等収入 (億円)	2,902	3,185	3,270	6,055	6,484
資産運用損益 (億円)	267	357	103	705	175

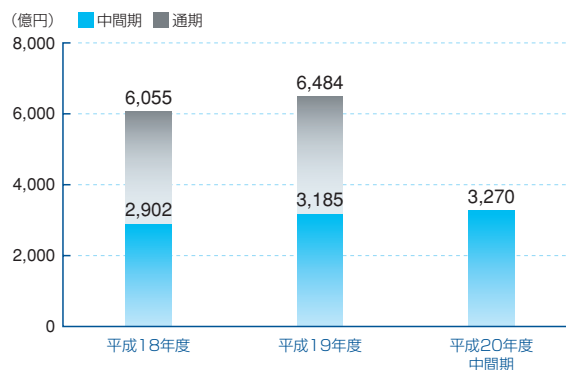
※1 保有契約高、保有契約年換算保険料、解約・失効率、新契約高、新契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計です。

※2 解約・失効率は、復活契約を失効と相殺せずに算出しています。

▶ 保有契約高の推移



▶ 保険料等収入の推移



より詳しい情報は、ソニー生命のホームページ <http://www.sonylife.co.jp/> をご覧ください。

3 ソニー損保

業績推移表

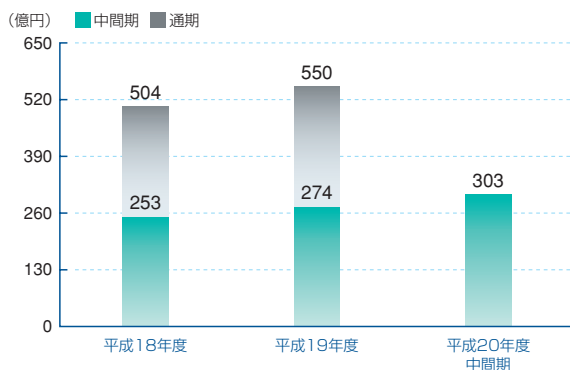
		平成18年度 中間期	平成19年度 中間期	平成20年度 中間期	平成18年度 (平成19年3月期)	平成19年度 (平成20年3月期)
元受正味保険料	(億円)	251	273	301	501	546
正味収入保険料	(億円)	253	274	303	504	550
正味支払保険金	(億円)	115	124	141	241	262
正味事業費率	(%)	25.9	25.3	26.2	26.3	26.7
正味損害率	(%)	51.2	51.1	52.4	53.6	53.5
コンバインド・レシオ	(%)	77.1	76.4	78.6	79.9	80.3
保有契約件数 <small>〔中間期末 または年度末〕</small>	(万件)	89	97	108	93	102

正味事業費率=保険引受に係る事業費÷正味収入保険料

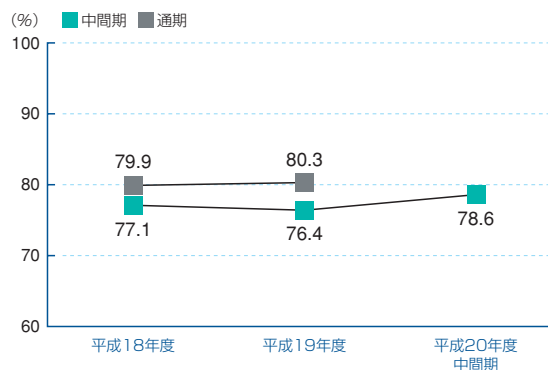
正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費)÷正味収入保険料

コンバインド・レシオ=正味損害率+正味事業費率

▶ 正味収入保険料の推移



▶ コンバインド・レシオの推移



より詳しい情報は、ソニー損保のホームページ <http://www.sonysonpo.co.jp/> をご覧ください。

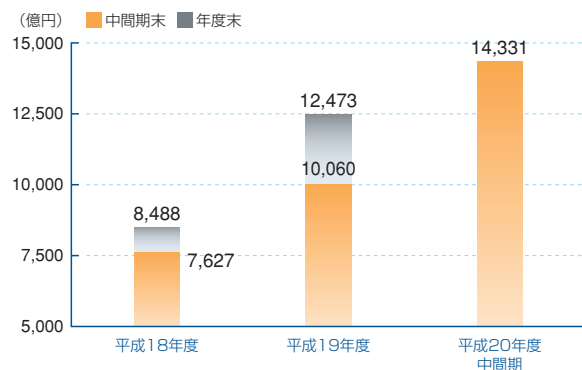
4 ソニー銀行（単体）

業績推移表

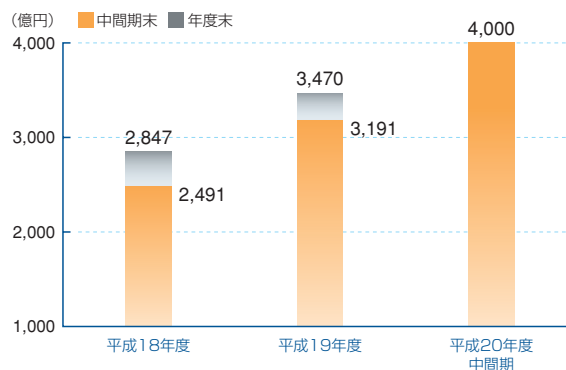
		平成18年度 中間期	平成19年度 中間期	平成20年度 中間期	平成18年度 (平成19年3月期)	平成19年度 (平成20年3月期)
業務粗利益	(億円)	45	54	66	90	109
営業経費	(億円)	38	38	49	76	81
業務純益	(億円)	6	15	16	13	28
預り資産残高 <small>【中間期末 または年度末】</small>	(億円)	7,627	10,060	14,331	8,488	12,473
貸出金残高 <small>【中間期末 または年度末】</small>	(億円)	2,491	3,191	4,000	2,847	3,470
自己資本比率(国内基準) <small>【中間期末 または年度末】</small>	(%)	10.52	10.94	8.88	11.49	9.15
口座数 <small>【中間期末 または年度末】</small>	(万件)	45	53	67	49	61

※預り資産残高は、預金残高と投資信託残高の合計です。

▶ 預り資産残高の推移



▶ 貸出金残高の推移



より詳しい情報は、ソニー銀行のホームページ <http://sonybank.net/> をご覧ください。

中間連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科目	平成19年度 中間期末 (平成19年9月30日)	平成20年度 中間期末 (平成20年9月30日)	平成19年度末 (平成20年3月31日)
資産の部			
現金及び預貯金	44,075	50,598	60,058
コールローン及び買入手形	391,537	433,165	424,868
金銭の信託	795,109	870,118	895,672
有価証券	2,812,707	3,175,813	2,930,441
貸出金	420,229	514,889	455,763
有形固定資産	85,657	83,506	84,451
無形固定資産	10,761	19,161	16,412
代理店貸	0	—	—
再保険貸	392	127	256
外国為替	2,565	5,271	1,683
その他資産	82,683	113,739	101,229
繰延税金資産	4,972	38,363	6,937
貸倒引当金	△266	△445	△327
資産の部合計	4,650,428	5,304,310	4,977,450

科目	平成19年度 中間期末 (平成19年9月30日)	平成20年度 中間期末 (平成20年9月30日)	平成19年度末 (平成20年3月31日)
負債の部			
保険契約準備金	3,326,742	3,601,853	3,454,167
代理店借	1,234	1,138	1,308
再保険借	662	690	926
預金	888,442	1,336,849	1,143,476
コールマネー及び売渡手形	24,000	10,000	10,000
借入金	—	2,000	—
外国為替	10	17	0
その他負債	64,243	112,356	62,530
賞与引当金	1,866	2,073	2,240
退職給付引当金	11,144	12,667	11,920
役員退職慰労引当金	214	277	252
特別法上の準備金	22,449	24,703	24,136
繰延税金負債	22,677	0	4,156
再評価に係る繰延税金負債	706	706	706
負債の部合計	4,364,397	5,105,336	4,715,822
純資産の部			
資本金	5,500	19,900	19,900
資本剰余金	180,877	195,277	195,277
利益剰余金	△33,962	△20,793	△26,417
株主資本合計	152,414	194,384	188,759
その他有価証券評価差額金	130,169	6,566	74,902
繰延ヘッジ損益	△360	△830	△1,345
土地再評価差額金	△1,475	△1,475	△1,475
為替換算調整勘定	700	330	786
評価・換算差額等合計	129,034	4,590	72,868
少数株主持分	4,582	—	—
純資産の部合計	286,030	198,974	261,627
負債及び純資産の部合計	4,650,428	5,304,310	4,977,450

中間連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	平成19年度	平成20年度	平成19年度
	中間期 <small>（平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで）</small>	中間期 <small>（平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで）</small>	中間期 <small>（平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで）</small>
経常収益	404,685	420,048	822,153
生命保険事業	365,346	371,609	740,596
保険料等収入	318,426	326,936	648,178
資産運用収益	44,778	43,583	87,542
その他経常収益	2,140	1,090	4,875
損害保険事業	27,777	30,707	55,625
保険引受収益	27,479	30,371	55,036
資産運用収益	286	323	572
その他経常収益	11	13	16
銀行事業	11,561	17,731	25,931
資金運用収益	7,447	10,673	17,162
役員取引等収益	949	968	1,753
その他業務収益	3,157	6,022	7,001
その他経常収益	6	67	15
経常費用	377,133	397,579	777,653
生命保険事業	341,638	351,969	702,056
保険金等支払金	117,482	125,841	241,114
責任準備金等繰入額	164,683	140,852	286,271
資産運用費用	9,036	32,970	69,903
事業費	45,660	46,855	94,189
その他経常費用	4,775	5,450	10,578
損害保険事業	25,577	29,314	52,420
保険引受費用	19,079	21,901	38,634
資産運用費用	3	14	5
営業費及び一般管理費	6,482	7,395	13,763
その他経常費用	12	4	16
銀行事業	9,917	16,294	23,175
資金調達費用	4,954	8,542	12,045
役員取引等費用	486	603	1,049
その他業務費用	479	1,642	1,524
営業経費	3,927	5,375	8,411
その他経常費用	70	131	144
経常利益	27,551	22,469	44,500
特別利益	1	3	2
特別損失	1,689	678	3,820
契約者配当準備金繰入額	966	1,688	3,159
税金等調整前中間（当期）純利益	24,896	20,105	37,522
法人税及び住民税等	10,835	9,026	6,690
法人税等調整額	△2,883	△1,101	6,078
少数株主利益	233	—	497
中間（当期）純利益	16,710	12,180	24,255

中間連結株主資本等変動計算書

（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）

（単位：百万円）

	株主資本			
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	株主資本 合計
前期末残高	19,900	195,277	△26,417	188,759
当中間期変動額				
剰余金の配当	—	—	△6,525	△6,525
中間純利益	—	—	12,180	12,180
持分法の適用 範囲の変動	—	—	△31	△31
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額（純額）	—	—	—	—
当中間期 変動額合計	—	—	5,624	5,624
当中間期末残高	19,900	195,277	△20,793	194,384

	評価・換算差額等					純資産 合計
	その他有 価証券評 価差額金	繰延 ヘッジ 損益	土地再 評価差 額金	為替換 算調整 勘定	評価・換 算差額等 合計	
前期末残高	74,902	△1,345	△1,475	786	72,868	261,627
当中間期変動額						
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△6,525
中間純利益	—	—	—	—	—	12,180
持分法の適用 範囲の変動	—	—	—	—	—	△31
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額（純額）	△68,336	514	—	△456	△68,277	△68,277
当中間期 変動額合計	△68,336	514	—	△456	△68,277	△62,653
当中間期末残高	6,566	△830	△1,475	330	4,590	198,974

■ 株主メモ

事業年度	毎年 4月1日から翌年 3月31日まで
定時株主総会	毎年 6月
議決権の基準日	3月31日
公告方法	電子公告 (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行きます。)

株式事務取扱場所

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

株式に関する
お手続きのご請求
について

株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書等)のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご留意ください。

TEL 0120-244-479 (通話料無料)
インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

■ 大株主の状況 (平成20年9月30日現在)

株主名	所有株式数 (株)	発行済株式の総数に 対する所有株式数の 割合 (%)
ソニー株式会社	1,305,000	60.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	42,772	1.96
ザチェースマンハッタンバンク 385036	39,432	1.81
ビービーエイチアイビーコントラファンドフィナンシャルズサブ	37,475	1.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	36,898	1.69
ゴールドマンサックスアンドカンパニーレギュラーアカウント	36,876	1.69
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505103	35,637	1.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	32,230	1.48
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505223	30,877	1.41
シービーニューヨークオービスエスアイシーアーヴィー	27,488	1.26

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 8729

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

■ 会社概要

商号	ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社 (英文名: Sony Financial Holdings Inc.)
設立	平成16年4月1日
所在地	東京都港区南青山1丁目1番1号
事業内容	生命保険会社・損害保険会社・銀行・その他の保険業 法および銀行法の規定により子会社とした会社の経営 管理およびそれに附帯する業務

 Sony Financial Holdings

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

TEL: 03-5785-1070(代表)

<http://www.sonyfh.co.jp/>

